

「環境技術実証事業（ETV 事業）の活用に関するシンポジウム ～環境技術の普及促進に向けた方策を考える～」開催報告

1. シンポジウムの開催概要

シンポジウムの開催概要を表1に示す。

表1 シンポジウムの開催概要

項目	内容
日時	平成25年1月31日(木) 14:00~17:00(開場:13:30)
場所	弘済会館
プログラム	<p>第1部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基調講演「環境技術実証事業の概要と政策的位置付け」 2. 実証済技術の事例紹介 <ol style="list-style-type: none"> 1) 地球温暖化対策技術分野(照明用エネルギー低減技術(反射板・拡散板等)) 東洋鋼鈹株式会社・松隈 正人 氏 2) 有機性排水処理技術分野 株式会社大都技研・佐藤 秀雄 氏 3) 閉鎖性海域における水環境改善技術分野 株式会社 エネルギア・エコ・マテリア・福間 晴美 氏 4) 湖沼等水質浄化技術分野 初雁興業株式会社・畑 直之 氏 5) ヒートアイランド対策技術分野(建築物外皮による空調負荷低減等技術) 帝人フロンティア株式会社・新宮 公 氏 6) ヒートアイランド対策技術分野 (地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム) 三菱マテリアルテクノ株式会社・石上 孝 氏 7) VOC等簡易測定技術分野 フィガロ技研株式会社・瀬戸口 泰弘 氏 8) 自然地域トイレし尿処理技術分野 特定非営利活動法人山のECHO・平澤 恵介 氏 <p>第2部</p> <p>パネルディスカッション「環境技術の普及促進方策について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーター：大阪大学・藤田座長 ・パネラー：(公財)東京都環境公社東京都環境科学研究所・柿沼委員、 (株)大都技研・佐藤氏、フィガロ技研(株)・瀬戸口氏、環境省・武部氏、 (一財)建材試験センター・村上氏、エックス都市研究所・山崎 <ol style="list-style-type: none"> 1) 環境技術の普及促進の必要性和具体的方策 2) 環境技術実証事業の位置付け 3) 環境技術実証事業のメリットと活用方法 4) 環境技術実証事業の今後の方向性 5) 質疑応答 6) まとめ

2. シンポジウムの成果

(1) 開催案内・参加申込み

平成 25 年 1 月 10 日に環境省ウェブサイトにもシンポジウムの開催案内を掲載し、参加を募った。その他実証機関にもご協力をいただき募集を行った。

事前の参加申込数は 40 名であった。

(2) 参加状況

シンポジウムの参加状況を表 2 に示す。

表 2 参加状況

区分	人数
事前申込者数	40
事前申込者のうち欠席者数	5
当日参加申込者数	6
シンポジウム参加者数	41

(3) シンポジウムの開催概況

シンポジウム開催概況写真を以下に示す。



写真 1 基調講演



写真2 実証済技術の事例紹介



写真3 パネルディスカッション その1



写真4 パネルディスカッション その2



写真5 展示スペース

(4) シンポジウムの参加者アンケートの結果

シンポジウムで配布したアンケートの集計結果を以下に示す。参加者 41 名に対し、回収数は 26 であった。

環境技術実証事業 (ETV 事業) を知っていたか

当事業を既知っていた参加者は 22 名で、知らなかった参加者は 3 名のみであった。

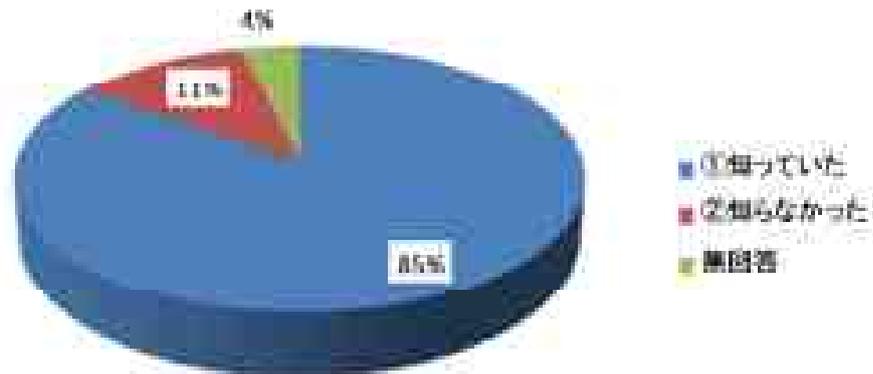


図1 環境技術実証事業の既知度

参加者の事業に関連する技術分野は何か

ヒートアイランド対策技術分野 (建築物外皮による空調負荷低減等技術) と関連がある参加者が 11 名、地球温暖化対策技術分野 (照明用エネルギー低減技術 (反射板・拡散板等)) と関連がある参加者が 7 名と多かった。

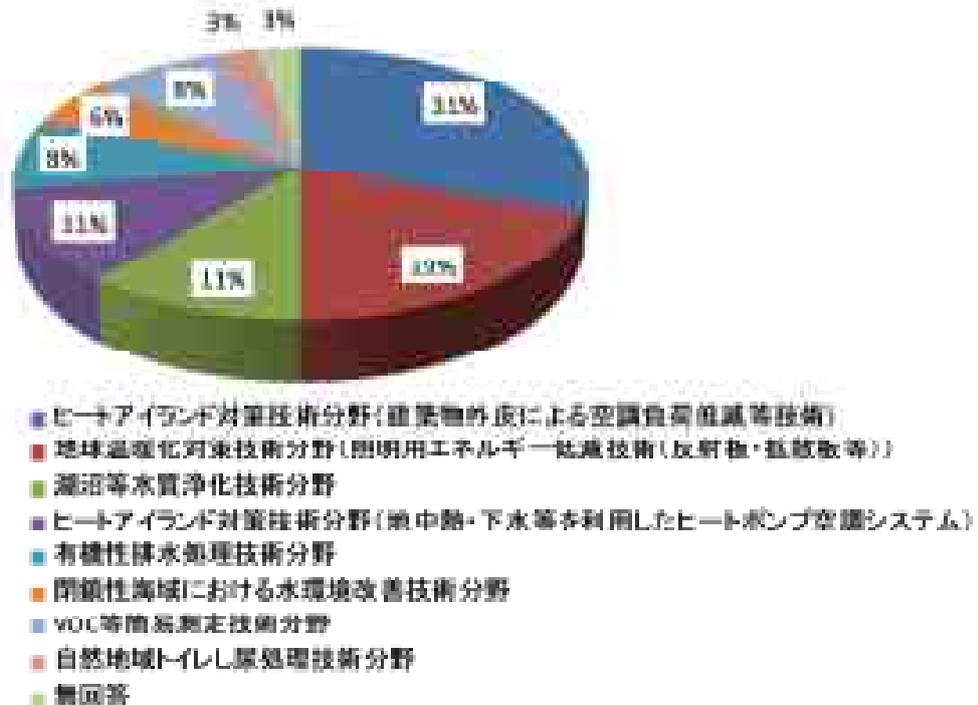


図2 参加者と関連のある技術分野

シンポジウムの説明内容の評価

1) 基調講演「環境技術実証事業の概要と政策的位置付け」

「満足している」、「やや満足している」が過半数を占める結果となった。

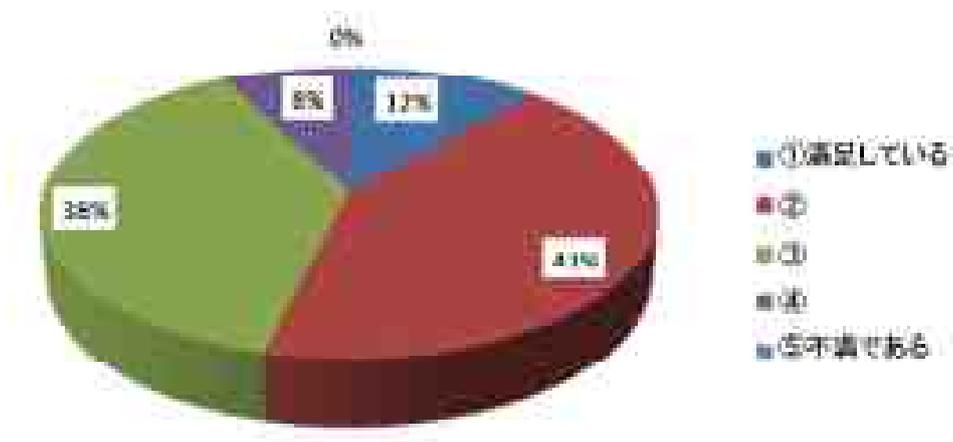


図3 基調講演「環境技術実証事業の概要と政策的位置付け」の評価

2) 実証済技術の事例紹介

「やや不満である」とした参加者が6名であった。各事業者の発表時間が5分程度であり、時間が短いという記述があった。

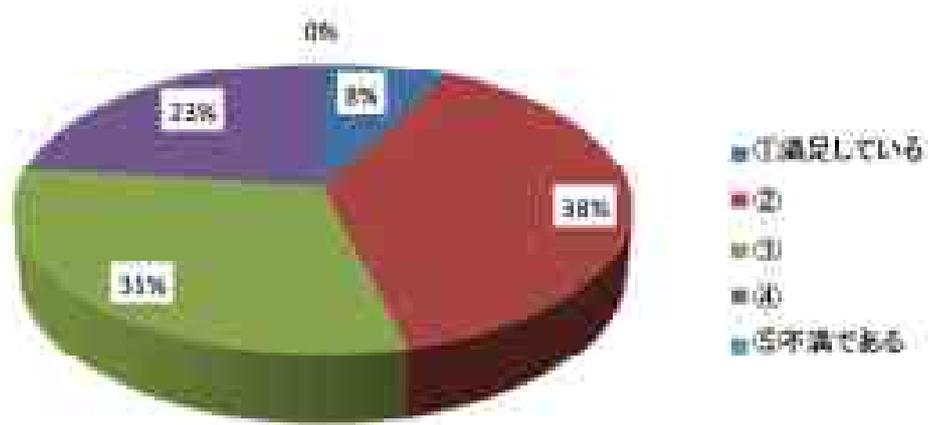


図4 実証済技術の事例紹介の評価

3) パネルディスカッション

「満足している」、「やや満足している」が過半数を占める結果となった。第1部で退席する参加者もいたため、無回答もあった。

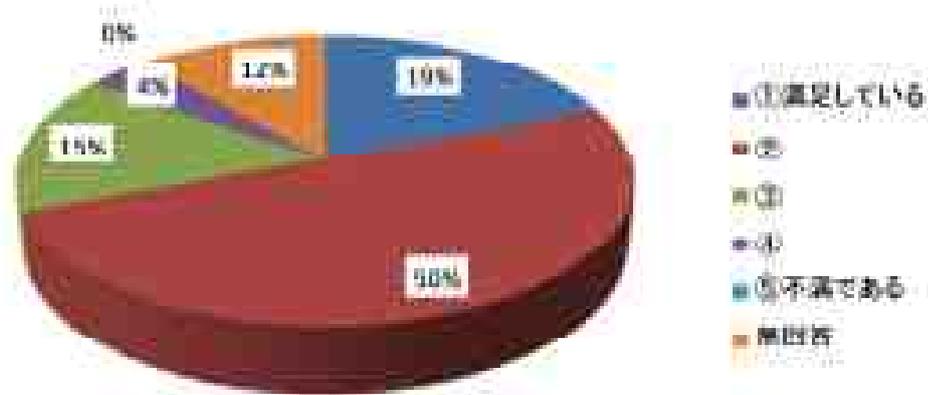


図5 パネルディスカッションの評価

4) 実証申請者によるポスター・カタログ等展示等

「どちらでもない」と回答した参加者が最も多かった。デモ等を行いたいという参加者からの意見があった。

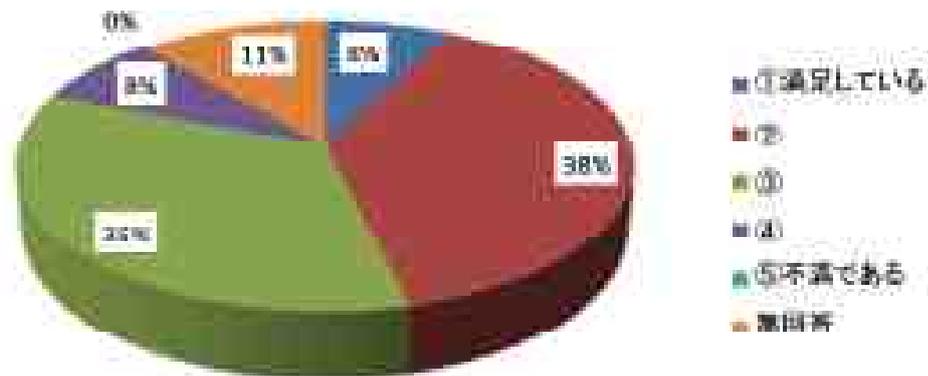


図6 実証申請者によるポスター・カタログ等展示等の評価

シンポジウム運営についての評価

1) イベントの趣旨・開催目的

イベントの趣旨・開催目的については、ほぼ満足いただけただけの結果となっている。

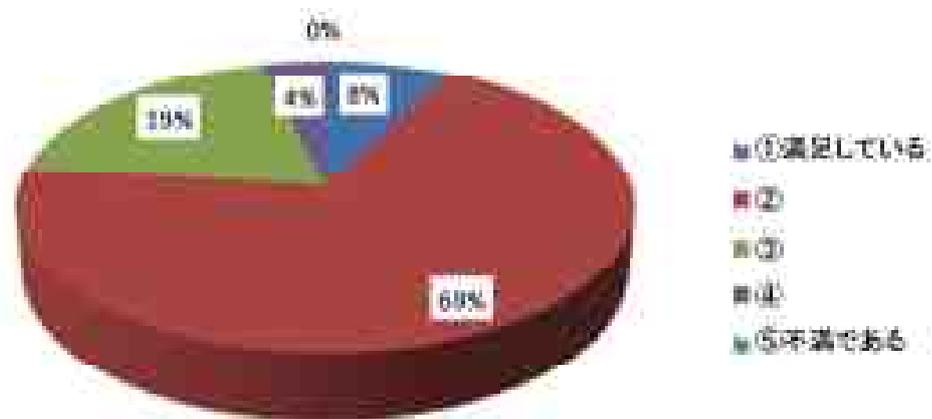


図7 イベントの趣旨・開催目的の評価

2) シンポジウムの周知方法

他の項目とくらべて満足度が低くなっている。周知期間が短いという記述があった。

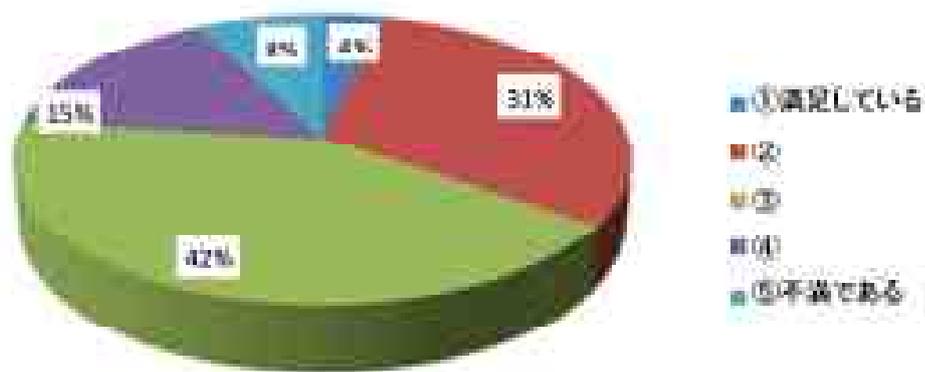


図8 シンポジウムの周知方法の評価

3) 配布資料

「満足している」、「やや満足している」が過半数を占める結果となった。パネルディスカッションの slides がどのページにあるのかわかりにくいという記述があった。

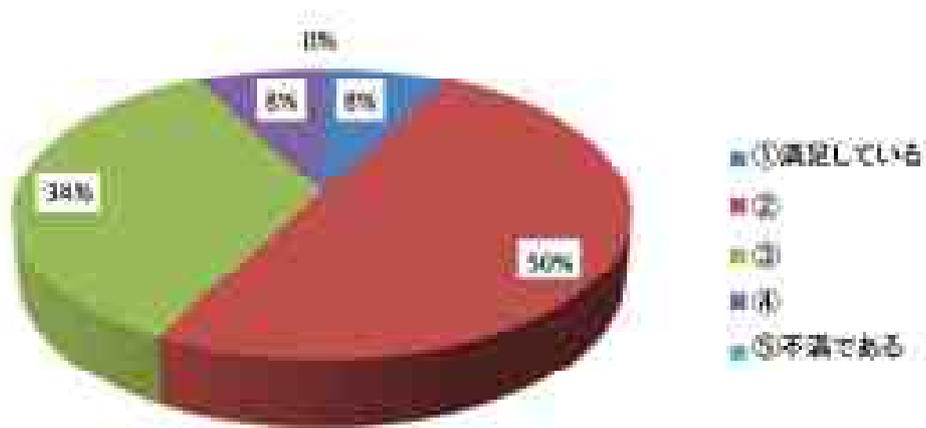


図9 配布資料の評価

4) 当日運営

当日の運営は「やや満足している」、「どちらでもない」が大多数を占める結果となった。

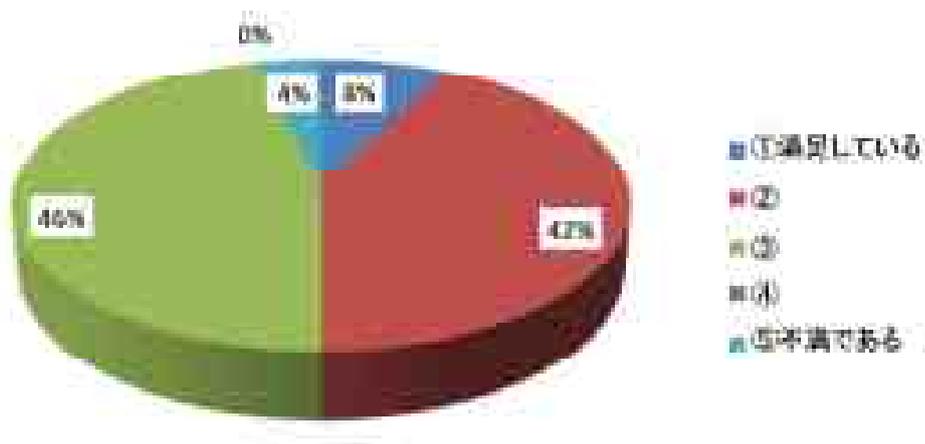


図10 当日運営の評価

今後の ETV 事業申請可能性

メーカー以外の参加者もいたため、「特に実証を新生する予定はない」、「無回答」が過半を占める結果となった。メーカーの参加者からは「実証申請を積極的に検討したい」、「実証申請を行う可能性はある」といった回答もあった。

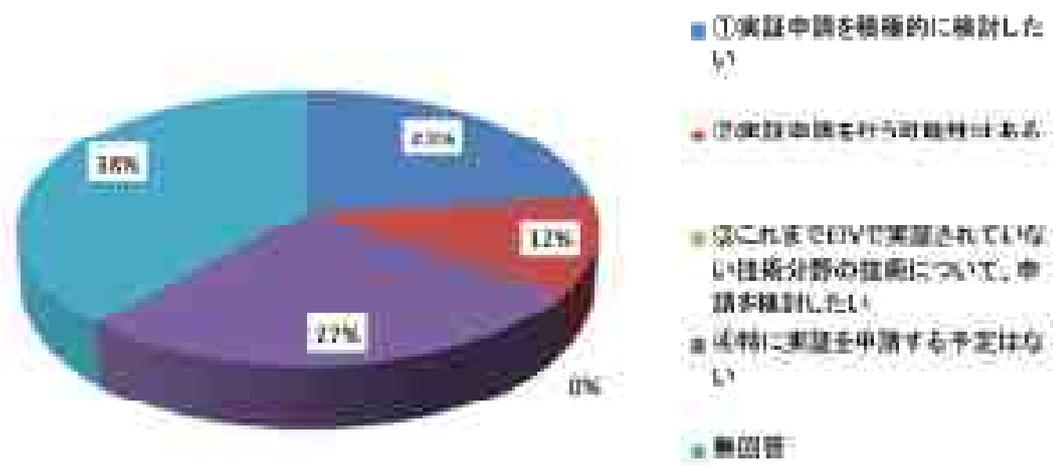


図 11 今後の ETV 事業申請可能性